

震災追悼行事

1月17日（金）、震災追悼行事を実施し、阪神・淡路大震災から三十周年となり、犠牲となった方々のご冥福をお祈りしました。

今年、本校の卒業生であり、北海道地域防災マスター、クライシスマネージャーの河野通船氏に「～阪神・淡路大震災 30 周年特別授業～後悔しない為に今できる危機管理」と題して講演をしていただきました。河野氏は、本校の3年生であった平成7年に阪神・淡路大震災を体験され、それが契機となって災害ボランティアに携わるようになられました。講演では、「平時と有事の切替」が「危機管理」につながるとお話しになりました。平時では不足を感じるくらいに準備しておき、有事においては充分であり大丈夫だと安心できるようにしてほしいと述べられました。こうすることで、災害を他人事とせず、防災意識のアンテナを高くすることができるともお話しになりました。

この行事を通して当時の被災地の状況や苦労を理解し、災害に対しての意識を高めてもらいたいと思います。

